

ITS 世界会議ウィーン 2012 にてパネル展示を実施

ITS情報通信システム推進会議（以下、「推進会議」）は、10/22～10/26、オーストリア・ウィーンにて開催されたITS世界会議ウィーン2012において、JAPAN pavilionの中でパネル展示を実施し、会場を訪れた多くの関係者に対して、推進会議の概要や5.8GHz帯DSRC、700MHz帯ITS、79GHz帯レーダーの規格策定などの主な取り組みについてアピールしました。



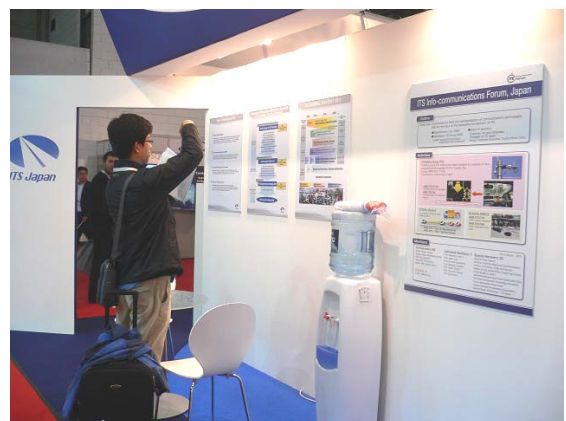
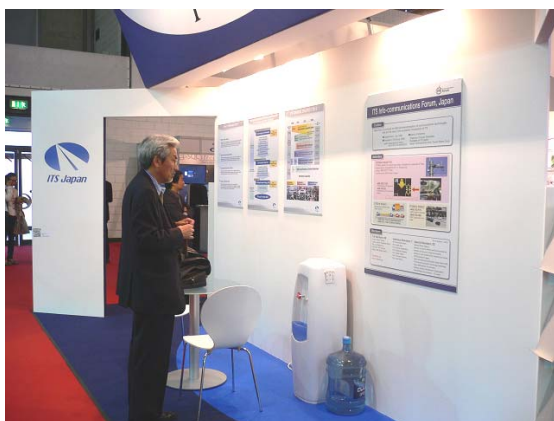
〔 JAPAN pavilion の中に、ITS 情報通信システム推進会議のパネルを展示 〕



（ITS 情報通信システム推進会議の出展パネル）

各国の自動車メーカ、電装品メーカ、政府関係者、道路事業者、各種団体関係者等が推進会議のブースを訪れ、立ち止まって見学したりパネルの写真を撮影したりするとともに、700MHz帯ITSや79GHz帯レーダーの特徴などについて、熱心な質問を投げかける見学者もいました。

推進会議では、今回の出展経験も踏まえて、来年日本（東京）にて開催される ITS 世界会議東京 2013 においても、より積極的に活動成果をアピールし、諸外国との連携や国際標準化での協力関係を深めるべく、出展準備を進めていく予定です。



〔 推進会議の出展パネルご見学者。写真右側の韓国自動車メーカの見学者からは、79GHz帯レーダーの特徴などについて熱心な質問もあった。 〕